

徳島県歯科医師会と がん患者歯科医療連携合意書を 締結しました

本院と徳島県歯科医師会は、がん患者の口腔ケアを推進していく連携について合意し、平成25年12月13日に調印式を行いました。これは近年、口腔ケアや歯科治療が、がん治療の重要な支持療法として重要視されるようになったことに伴い、がん患者が歯科医療や口腔ケアを継続的に受けられるための体制を整えることを目的としたもので、今後、両者は退院予定のがん患者にその地域のかかりつけ歯科医を紹介したり、「がん患者歯科医療連携講習」を共同開催したりするなど、地域連携体制を構築していきます。調印式は、徳島県歯科医師会館において行われ、本院の安井病院長と徳島県歯科医師会の和田会長が、文書を交わしました。



「徳島大学病院フォーラム2014春」を 開催しました

平成26年2月2日、市民公開講座「徳島大学病院フォーラム2014春」を開催しました。本院では、大学病院が果たす地域医療への貢献の一環として、地域の皆さんに最新の医療を知っていただくため、春と秋の年2回、「徳島大学病院フォーラム」と題した市民公開講座を開催しています。今回は「鏡視下手術～身体に優しい外科手術～」と「がん～最新の診断から治療まで～」と題した2部構成で実施しました。第1部では内視鏡を用い

「周産期医療環境整備事業報告会」を開催しました

平成26年1月10日、ホテルクレメント徳島で周産期医療環境整備事業報告会を開催しました。医学生、研修医対象のセミナー、国内外の指導者を招いた研修会、ICTを駆使した情報共有システム開発、地域医療支援、夜間保育や育児支援、医師負担軽減など周産期医療を担う医師育成を目的に文科省人材養成環境整備事業の一環として、平成21年度から5年間、産婦人科ではさまざまな企画、事業を行いました。文科省担当官、安井病院長をはじめ多くの方々にご出席いただき、苛原科長が事業の趣旨を紹介、前田医師が分娩セミオープンシステム、共通ノートによる妊婦健診の標準化、川西師長が院内助産とエキスパート助産師養成、吉田医師から女性医師支援、特に夜間、病児保育の拡充の重要性、そして西村医師から産婦人科の魅力づくりについて報告がありました。特別講演として日本医科大学講師の澤倫太郎先生から周産期医療変質のきっかけとなった福島県立大野病院事件に医師側特別弁護人として深く関わった経験と、今後の医療の健全な発展に貴重な提言をいただきました。



「平成25年度大学病院情報 マネジメント部門連絡会議」を開催しました

平成26年2月12日(水)～14日(金)の3日間にわたり、徳島市のホテルクレメント徳島を会場として、平成25年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議を開催しました。700名を超える参加者、60を超える後援・協賛団体の方々が来られました。本会議では、国立大学病院のみならず、公立・私立大学病院ならびに一般病院等の病院情報マネジメントに携わるあらゆる職種が一同に集まりました。そして、地域や病院における医療の質・安全性の保証・向上、病院経営・業務の効率化・円滑化等について、臨床現場の実情に基づいて具体的な議論を交わし、医療と情報技術の共存・共栄、そして共創を目指して活発な議論と意見交換が行われました。

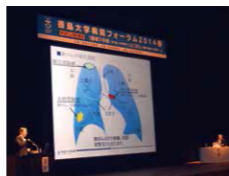


「愛と知と技のバランスのとれた看護職養成 平成25年度第2回報告会」を開催しました

平成26年3月8日(土)、徳島大学大塚講堂において、「愛と知と技のバランスのとれた看護職養成」平成25年度第2回報告会を開催し、他施設の方を含め198名の参加がありました。最初に、本院木田看護部長より本事業の概要の説明があり、続いて各担当者より実践及び成果について報告がありました。次に特別講演に移り、香川学長より「看護職のためのキャリア開発支援への期待」というテーマで人事育成に必要なキーワードを盛り込みながら、ユーモアも含めて分かりやすく講演していただきました。その後、赤池キャリア形成支援センター長より「医師の人材育成について」というテーマで講演をしていただきました。最後に、文部科学省の市村専門官より「もう一步踏み込んだ人事交流を期待する」など、この事業の取り組みを継続し拡充していくようにと総評をいただきました。



た呼吸器外科や整形外科の手術や、手術支援ロボット・ダヴィンチを用いた泌尿器科の手術が紹介され、第2部では日本人の死亡原因の第1位を占める「がん」の予防と治療に関し、消化器内科、消化器・移植外科、食道乳腺甲状腺外科、遺伝相談室、放射線治療科の第一線で働く専門医が講演を行いました。当日ご参加くださった600人近い参加者の方々は、本院医師たちの語る最新医療の話に熱心に耳を傾けておられました。



徳大病院 ニュース 徳島大学病院の最新情報をお届けします

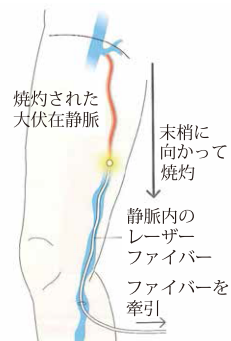
「下肢静脈瘤専門外来」を開設しました

下肢静脈は重力に逆らって心臓に血液を戻しています。下肢静脈には、逆流を防ぐために静脈弁が存在します。静脈弁が壊れることで血液が逆流し、その下の静脈が拡張する病気を下肢静脈瘤といいます。長時間の立ち仕事を行っていた方、妊娠・出産を経験された方などは発症の頻度が高くなります。症状としては、静脈の拡張、痛み、むくみ、しびれ、かゆみ、皮膚色素沈着などがあります。

血管内レーザー焼灼術(しょうしゃくじゅつ)は、2011年1月から保険適応となり、当院でも2012年4月から治療を行っています。血管内に光ファイバーを通し、内部からレーザーにて血管を焼

て閉塞させる治療です。小さくかつ少ない皮膚切開で痛みや傷跡が少なく、美容面に優れ、日帰り治療が可能なメリットがあります。診療当日に手術しても当日歩いて帰宅できます。帰宅後、家事や散歩などの日常生活が可能です。

当院心臓血管外科では平成26年1月7日より「下肢静脈瘤専門外来」を開設しました。血管内レーザー焼灼術実施医が手術治療を担当し、専門的な診療を行っています。



▲血管内レーザー焼灼術

■外来日時:毎週火曜 13:00~15:00 (担当医: 木下 肇 医員)

- ① 他の予約同様のFAX予約 (Fax.088-633-7483)
- ② 心臓血管外科外来の電話予約 (Tel.088-633-7150)

市民公開講座等のご案内

■徳島大学病院循環器内科フォーラム

【日時】平成26年4月27日(日) 13:00~16:00

【場所】徳島大学 蔵本キャンパス 大塚講堂

【参加費】無料

【問い合わせ】循環器内科医局 Tel.088-633-7851

■平成26年度 呼吸の日記念市民公開講座

「あなたは喘息ですか、それともCOPDですか?」

【日時】平成26年5月25日(日) 13:30~

【場所】徳島大学 蔵本キャンパス 長井記念ホール

【参加費】無料

【問い合わせ】

呼吸器・膠原病内科医局 Tel.088-633-7127

「敷地内禁煙」川柳

禁煙の
おまけもついで
退院し



臨床試験管理センターからのお知らせ 治験に参加しませんか?

問い合わせ先/臨床試験管理センター Tel. 088-633-9294

現在、治験への参加をお願いしている病気は次の通りです

- 関節リウマチ
- 2型糖尿病性腎症
- 多発性骨髄腫
- アルツハイマー型認知症
- 慢性炎症性脱髄性多発神経炎
- 多巣性運動ニューロパチー
- 腎癌
- 前立腺癌
- 肝細胞癌
- 原発性リンパ浮腫
- 双極性障害

どうぞお気軽に
お問い合わせください。